

DRV-220D

スタンダードドライブレコーダー

取扱説明書

ご購入いただきましてありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



メモリーカードについてのご案内

- メモリーカードは定期的にフォーマットしてください。
- メモリーカードは消耗部品であり、寿命があります。SDエラーが出る場合にはメモリーカードの寿命が考えられますので、新しいSDカードと交換してください。※推奨SDカード：KNA-SDBA/KNA-SD1.6A/KNA-SD32A 詳細は当社ホームページでご確認ください。http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/sd/
- メモリーカードの寿命に起因する故障または損害については、当社は一切の責任を負いません。

© 2016 JVC KENWOOD Corporation

B5A-1688-0J

本機のセットアップ<本機をご使用になる前に必ず実行してください。SDカードは挿入していない状態でセットアップを開始してください。>

Step 1: 本機の取り付け / 配線

- フロントガラスの上部から20%の範囲以内に取り付けてください。
- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ワイパーのひき取り範囲内に入るように取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- 他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両取扱説明書を参照ください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- きれいに録画するために、ルームミラーの近くに本機を配置することをお勧めします。

1 車が水平な場所に駐車していることを確認する

2 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く



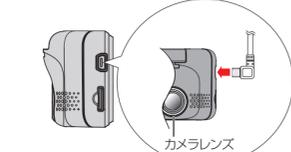
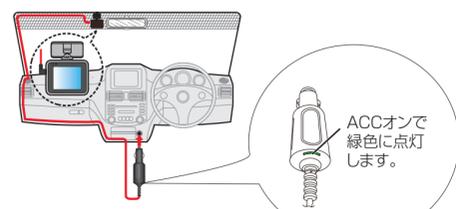
3 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける



貼り付け位置を確認して貼り付けます。粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

付属のシガープラグで接続する

1 付属のシガープラグをシガーライターに接続して本機に電源コードを接続し、配線する



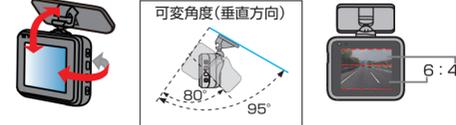
電源がオンになり充電が始まります。

2 そのまま3分以上充電する

約3分充電すると使用できるようになります。

3 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約6対4であることを確認してください。



4 保護シートをはがす



保護シート

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他人の人身への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠ 注意 (しなければならぬ)の内容です。

⊘ 禁止 (してはならない)の内容です。

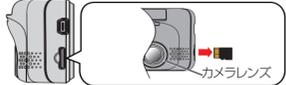
❗ 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

もしものときは!

録画ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてメモリーカードを取り出してください。



メモリーカードを押し少し飛び出したら引き抜きます。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを使用する前と2週間に一度くらいを目安にメモリーカードをフォーマットしてください。必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。

1 電源オン中に電源ボタンを押す。メニューを表示して「フォーマット」を選ぶ



2 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されるので確定する



Step 4: 駐車モードをオンにする

1 電源ボタンを押してメニューを表示する



2 「駐車モード」を選ぶ



3 「駐車モード設定」を選ぶ



4 「オン」を選ぶ



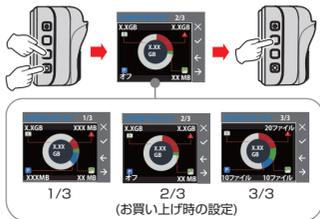
「駐車録画用の記憶領域がありません。記憶領域の割り当てを調整してください。」と表示されます。

5 確定ボタンを押す



6 記憶領域の割り当てを設定する

初期値は2/3に設定されています。
 ・駐車モードを使用する場合は必ず1/3または3/3に設定してください。
 ・割り当てを変更するとメモリーカード内のデータが消去されます。設定を変更する前に必要な映像または写真をパソコンに保存することをお勧めします。

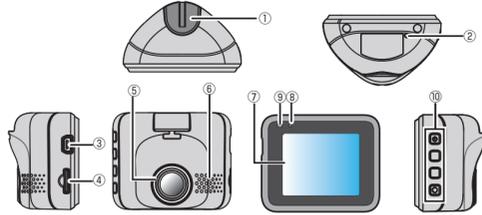


記憶領域の割り当て	メモリーカード容量	常時 (録画)	イベント (記録)	駐車 (録画)	写真
1/3	4GB	約32分	約3分	約1分	約75枚
	8GB	約1時間5分	約7分	約3分	約150枚
	16GB	約2時間10分	約15分	約7分	約300枚
2/3	32GB	約4時間20分	約30分	約15分	約600枚
	4GB	約32分	約6分	約3分	約75枚
	8GB	約1時間5分	約14分	駐車録画の記憶領域がありません。	約150枚
3/3	16GB	約2時間10分	約30分	約7分	約300枚
	32GB	約4時間20分	約60分	約15分	約600枚
	4GB	約32分	約6分	約1分	約75枚
容量で割り当て	8GB	約1時間5分	約7分	約3分	約150枚
	16GB	約2時間10分	約15分	約7分	約300枚
	32GB	約4時間20分	約30分	約15分	約600枚
お買い上げ時に設定されています。	4GB	約32分	約6分	約1分	約75枚
	8GB	約1時間5分	約14分	約3分	約150枚
	16GB	約2時間10分	約30分	約7分	約300枚
ファイル数で割り当て (常時は他のファイルの残り容量によります。)	4GB	約32分	約6分	約1分	約75枚
	8GB	約1時間5分	約14分	約3分	約150枚
	16GB	約2時間10分	約30分	約7分	約300枚
	32GB	約4時間20分	最大20ファイル	最大10ファイル	最大10ファイル

- 付属されているメモリーカード 16GB
- 記録時間及び写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- 録画はメモリー領域がなくなると古いファイルを消して録画し続けます。
- イベント記録および駐車録画のGセンサー(衝撃を検知するセンサー)の感度は、車種によって最適な設定が異なります。本機を取り付け後に、実際の車種に合った最適な設定に調整してください。

各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



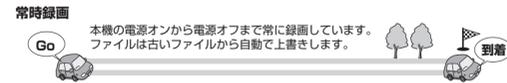
- 取付ブラケット挿入部
- リセットボタン 本機をリセットします。
- ミニ USB 端子 付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 (別売品) を接続します。USBケーブル (市販品) を接続してパソコンとも接続することができます。
- メモリーカードスロット 付属のメモリーカードを挿入します。
- カメラレンズ
- スピーカー
- 液晶画面
- マイク 録音中の音声を取録します。

本機の録画機能について

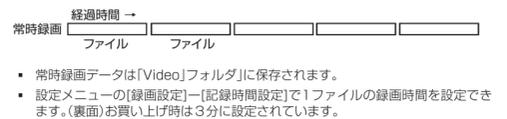
本機の録画機能は4つあります。電源がオンになると常時録画 (機能1) を開始します。また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録 (機能2) を行います。本機の電源がオフのときは駐車モードで駐車録画 (機能3) ができます。その他の機能として写真も撮影することができます。 (機能4)
 ・ ドアを閉めた時の振動を検出して、録画を開始する場合があります。

機能 1 : 常時録画 (連続録画)

もしもに備えて走行中の映像を常に録画します



ACCをオンにするとも本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画 (連続録画) が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。録画領域がなくなると古いファイルから上書きして録画を続けます。



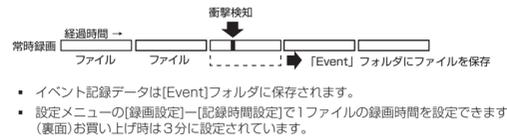
常時録画データは「Video」フォルダに保存されます。
 ・ 設定メニューの「録画設定」-「記録時間設定」で1ファイルの録画時間を設定できます。 (裏面) お買い上げ時は3分に設定されています。

機能 2 : イベント記録

走行中に衝撃を検知したら録画します



突発的な衝撃、急加速、急ターン、予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させた場合はイベント記録ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画 (連続録画) に戻ります。



突発的な衝撃、急加速、急ターン、予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させた場合はイベント記録ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画 (連続録画) に戻ります。

機能 3 : 駐車録画

駐車中も衝撃および物体を検知したら録画します



駐車場などに車を停めて本機の電源がオフになってから約25分*の間に衝撃および物体を検知すると録画を開始します。ファイルは古いファイルから自動で上書きします。

■ 駐車録画機能を使うときは「本機のセットアップ」左のSTEP4「駐車モードをオンにする」を参照して設定してください。

駐車モードでは車両の衝撃および隣近範囲内の物体を監視します。監視中に車両への衝撃および物体を検知すると駐車録画を開始します。

- 駐車録画データは「Parking」フォルダに保存されます。
- 駐車録画は衝撃・物体検知により最大60秒まで延長します。
- 衝撃や物体を検知してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- 監視方法については設定メニューの「駐車モード」-「動作検出感度設定」と「衝撃検出感度設定」で感度を設定できます。
- 駐車録画機能をもっと長く使用したいときは 別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を使用して駐車モードをオンにしてください。
- 駐車時の常時録画を行うには、自動起動設定を「手動」にしてください。駐車モードに移行せずに上書きしながら「オフタイマー設定」まで連続して「Video」フォルダに記録します。

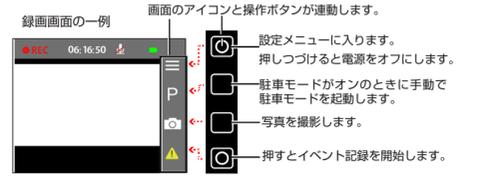
⑨ インジケーター

状態	充電	録画
緑色点灯	充電中	録画していない*
消灯	充電していない	録画していない*
緑色と橙色が交互に点滅	充電中	録画中
赤色点灯	—	駐車モード監視中
赤色点滅	—	録画中

* 「録画していない」とはメニュー表示中または録画ファイル再生中です。

⑩ 操作ボタン

4つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。



機能 4 : 写真を撮影できます

表示している映像を写真として保存することができます。



- 写真データは「Photo」フォルダに保存されます。
- ファイルは古いファイルから自動で上書きします。
- 駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイル再生中は写真を撮影することはできません。

録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルを本機で再生します。

1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 再生したいフォルダを選ぶ



3 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。再生中に上から2つ目のボタンを押すと再生メニューが表示されます。再生メニュー



再生 : もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生します。

イベントへ移動 : もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。

削除 : もう一度上から2つ目のボタンを押すと削除しますか? と表示されます。さらにもう一度押すと表示中のファイルが削除されます。

パソコンツールを使う

KENWOOD ROUTE WATCHER II は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。操作についてはCD-ROMに収録されている取扱説明書をご覧ください。

インストールする

- インストールおよび操作する場合はパソコン環境を「管理者権限」にておこなってください。本機に付属のCD-ROMを、PCのディスクドライブに挿入します。 Setup.exe (Windows)/KENWOOD ROUTE WATCHER_****.dmg (MAC) をダブルクリックし画面下の指示に従い、KENWOOD ROUTE WATCHER II をインストールします。 (対応OS: Microsoft Windows Windows 7/8/8.1/10 32/64bit, MAC OS X 10.7以上)

- メモリーカードを本機から取り外しカードリーダー (市販品) または、USBケーブル (市販品) を経由して本機をパソコンに接続します。
- KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動します。

